

# 平成26年度 倉吉市地域学校推進協議会

学校教育課

## 1 目的

地域学校委員会は、地域の住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と地域住民等との信頼関係を深め、地域及び学校がその教育力を相互に高め、共に児童生徒の豊かな学びと育ちの創造を目指すものとする。

2 実施日 第1回 6月28日(土) 13:30～16:45

第2回 2月21日(土) 10:00～12:00

3 主催 倉吉市教育委員会学校教育課

4 対象者 各小中学校地域学校委員会会長、教頭

## 5 内容

### 第1回

講演「学校地域の二人三脚

～地域の次世代育成～」

鳥取県教育委員会事務局

教育次長 小椋 博幸 氏

○同氏は、平成26年3月まで西中学校の校長を務めておられ、同校「かぐや姫プロジェクト」を中心に、学校と地域との連携についての考え方、その具体的な取り組みについて紹介していただいた。地域の中学生高校生がチームを作り、自分たちの町のためになる活動が地域のリーダー育成となり、それが地域の次世代育成への参画となること、また、そのために必要な地域の大人としての意識改革について御示唆いただいた。



### 第2回

#### (1) 実践発表

上北条小学校地域学校委員会の実践発表

上北条小学校 教頭 中村 博孝 氏

○上北条小学校での地域学校委員会の活動の様子をプレゼンテーションしていただいた。

○「学校支援」と「地域貢献」両面からの活動報告をしていただき、倉吉市の課題解決に迫る発表となった。



## (2) グループでの意見交換

各学校の課題を中心に「学校支援」と「地域貢献」について話し合った。

- 自己紹介後、各学校ごとの地域学校委員会の活動についての課題を発表。自校の活動について、他校の実践を参考にして考えることができた。



## (3) 指導助言

鳥取県教育委員会事務局 中部教育局

社会教育主事 岸本 隆治 氏

「家庭・学校・地域連携推進の経緯」から、「学校に求めたい意識」と「地域の意識」について御教授いただき、倉吉市の小中学校の課題を踏まえながら、学校から地域へのアプローチについて考える機会をいただいた。

また、茨城県板東市立猿島中学校、鳥取市立湖南中学校で取り組んでいる先進的な事例を御紹介いただき、中学校の地域学校委員会の活用の方法についても御示唆いただいた。